



所属 システム情報系
 氏名 延原 肇 准教授
 キーワード 計算知能、離散数理、著作権、ビットコイン
 HP <http://nobuharaken.com/>

ブロックチェーンによる新産業創出

概要

仮想通貨ビットコインの基盤となる「ブロックチェーン」の技術を利用し、CGM（Consumer Generated Media）向け著作権保護支援技術を開発しました。

従来技術・競合技術との比較、新技術の特徴

【従来】文化庁の著作権登録制度

- 申請料金が低い
- 申請時間がかかる
- 申請手続きが煩雑



日々膨大なコンテンツが生成されるCGMには適用不可能
 CGMには適用不可能

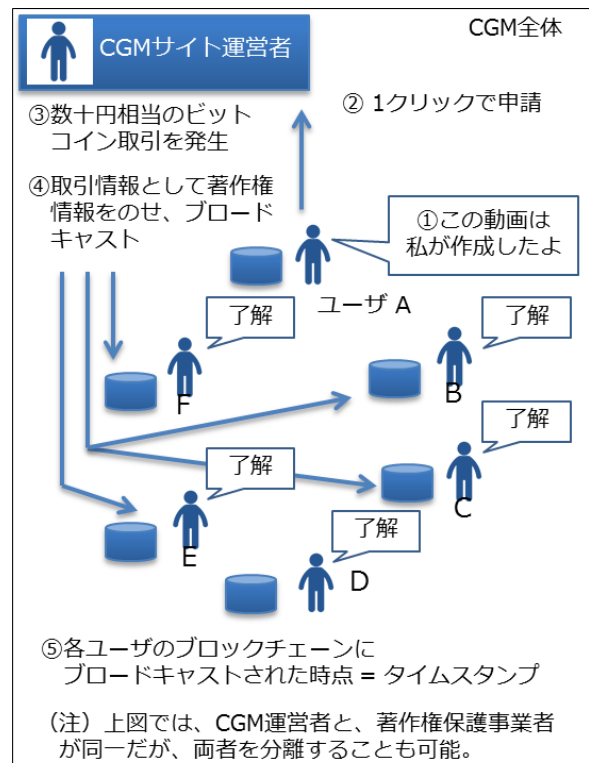
【提案】著作権保護支援システム

◆ブロックチェーン技術を活用。投稿ユーザーのコンテンツに対し、CGMの多数ユーザーが投稿時点のタイムスタンプを保証する仕組み(右図参照)です。

- 管理コストは、数十円/件 程度（この配分で多様なビジネスモデル有）
- 申請承認までの時間は、10分程度
- ウェブ上の1クリックで申請可能

想定される用途

- ・ CGMサイトにおける著作権保護支援
- ・ 新規CGMサイト活性化のための新ポイントサービス



企業への提案

研究者からメッセージ

ブロックチェーンは、IT業界の中で最も注目されている革新的な技術の一つだと思います。この技術を利用したサービスの創出に、全世界の頭脳集団が取り組みはじめております。この分野におけるイニシアチブを獲得するならば、「今、動くべき」です。

産と学が一体となって、斬新なアイデア、圧倒的な速度でのスタートアップが、必要です。

共同研究を希望するテーマ

ブロックチェーンを利用した新サービスの社会実装

特許・主な論文

著作物保護支援装置（出願中）